

申請者(ふりがな)	(リュウメイジ)
所属・資格(※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	人間科学研究科修士1年
発表年月 または事業開催年月	2022年1月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	3rd World Congress on Infectious Diseases and Antibiotics 2022
発表者(※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	リュウメイジ
発表題目(※学会発表の場合のみ記載)	International Comparative Study of Covid-19 Contact Tracing Applications
発表の概要と成果(抄録を公開しているURLがある場合、「概要・成果」を記載した上で、URLを末尾に記してください。また、抄録PDFは別途ご提出ください。なお、抄録PDFはWeb上には公開されません。)	
<p>2022年1月30日に、「World Congress on Infectious Diseases & Antibiotics」という国際会議で、「International Comparative Study of Covid-19 Contact Tracing Applications」というタイトルの研究内容を発表しました。研究内容について、2019年末に、Covid-19が中国で初めて発見された以来、世界中に急速に拡大しました。そしたら、各国の政府は、コロナ拡大防止のために、デジタル手段とのコロナ接触確認アプリを開発*しました。この研究では、日本、中国、イギリス、アメリカ(ニューヨーク州)、カナダ、ニュージーランド、ブラジル、スペイン、英國の九つの国の中の十個のコロナ接触確認アプリを文献調査及び体験調査との研究方法で、各アプリの導入日、使用人数、使い方、コロナ接触確認の原理などを研究しました。今後、アプリの開発、プライバシーの侵害</p>	

※無断転載禁止 防止にアドバイスを提供することを希望します。